

…講演会を開催しました…

(演題)

「感じる！伝える!! 山陰が誇る大伽藍と仏教文化
～史跡 大御堂廃寺跡の整備基本計画～」

(講師)

藤井 貴男 氏 (倉吉市教育委員会文化財課課長)

山増諭美子氏 (倉吉市教育委員会文化財課主任)

7月18日(日)14:00～16:00 於:上灘コミュニティセンター

昨年度の講演会「大御堂廃寺～その時代この地域～」の続編になる講演会でした。今回も多くの方の参加がありました。講師の方には多くの資料を準備して頂き、「史跡大御堂廃寺跡の整備基本計画」について、詳しい説明を聞きました。参加者からは、次のような提案や要望が寄せられました。

- ・「山陰最古」をPRし、奈良時代の他の寺院とどの時代で同じなのかを比較掲示すると、大御堂廃寺の古さと貴重さがよくわかるのではないかな。
 - ・美術館開館までに各種整備をされ、住民参加によるイベントの開催が地域住民の意識盛りに繋がる。
 - ・まずこんな史跡がある事を知ってもらわないといけない。誰にもわかりやすい広報活動が必須。その後は、食の体験(調理体験)等が出来る施設を作ると良い。
 - ・美術館「ひろま」にも大御堂廃寺に関連したコーナーがあればよい。関連した活動があることを希望する。
 - ・ウォーキングマップ作成、スタンプラリーで廃寺内の見所めぐりなど史跡の周遊を誘う。
 - ・大御堂廃寺跡の整備が、美術館とだけのシナジー効果に終わることなく、中部全体に広がるような大きな計画に発展させて欲しい。県、中部のランドマークになることを期待する。
 - ・一度に造り上げるのではなく、年々手を入れていく方法もありでは？イベントも同じものを実施するのではなく変化、変更していくことも大切。頭を使って新しいものをめざす。一番の心配は中途半端になる事です。
 - ・広々とした芝生の広場は、未来に向けた子ども達のキャンパスだと思っていた。中途半端に復元しないで、美術館を盛り上げるイベントを繰り広げる貴重な場所にして欲しい。
- 等々



「長岡の花火」：山下 清

7月31日対話会の開催

パートナーズ(美術館運営チーム)さん方から、

①美術館及び県民参画の概要・スケジュール

②想定しているボランティア活動イメージ

の説明を聞いたあとで応援団から、

◎4チームの活動の実際と、美術館開館後の

活動イメージをチームリーダーが説明します

その後、質疑及び意見交換を行う予定です。

「対話会」の詳しい内容は、広報紙などを通して皆様にお伝えします。

その後

役員会を開きます

<日時> 7月31日(土)16:00～17:00

<場所> 倉吉未来中心

<内容> ①チーム活動の情報交換 等

②秋の研修会について

③その他(対話会のまとめ等)

TCCで放送します!!

7月29日(木)18:00～

～30日(金)15:30

**定時のニュースで講演会の
様子が紹介されます。**

環境チームのみな様

お世話になりました!!